

平成27年度 地方創生先行型交付金に係る事業実施結果 長野県上田市

| No | ① 交付対象事業の名称 | ② 交付金の種類 | ③ 実績額 単位：円 | ④ 本事業における重要業績評価指標 (KPI) | | | | ⑤ 本事業終了後における実績値 | | ⑥ 外部有識者からの評価 | | ⑦ 実績値を踏まえた事業の今後について | | |
|-----|---|-------------|------------------|----------------------------|----------------|--------|-----|--------------------|-------|-----------------|-------------------|---|------------|--|
| | | | | 指標 | | 指標値 | 単位 | 目標年月 | 実績値 | 事業効果 | 事業の評価 | 外部有識者からの意見 | 今後の方針 | 今後の方針の理由 |
| | | | | 指標① | 指標② | 指標③ | 指標④ | 指標⑤ | 指標① | 指標② | | | | |
| 1 | ものづくり企業相談体制整備事業 | 基礎交付 | 3,393,320 | 指標① | 新事業へ向けて相談数 | 10 | 件 | H28.3 | 8 | 地方創生に相当程度効果があった | 総合戦略のKPI達成に有効であった | 工業指導員が企業訪問の中で、どのような相談を受けたのか、把握可能なら、指導員に対する評価もKPIとする必要がある。平成28年度以降に設定した製造品出荷額等の粗付加価値額の割合は、市民には分かりにくいKPIの設定と考えられる。 | 追加等更に発展させる | 地方創生推進交付金を活用して、コーディネーターの伴走支援等による相談体制を充実させるため、事業を更に発展させる。 |
| 2 | ものづくりコワーキング整備事業 | 基礎交付 | 3,000,000 | 指標① | ベンチャー誘致数 | 2 | 件 | H28.3 | 2 | 地方創生に効果があった | 総合戦略のKPI達成に有効であった | ベンチャー企業の誘致2件は、目標値と同値であった。地域発ベンチャーの創出拠点として、コワーキング施設の特徴を生かし、新たな付加価値を生み出す製造業創出に期待が持てる。 | 追加等更に発展させる | 地方創生推進交付金を活用して、ベンチャー企業と製造業のマッチングを充実させるため、事業を更に発展させる。 |
| 3 | 子育て女性社会進出促進支援事業 | 基礎交付 | 2,917,909 | 指標① | 研修(講座)による人材育成数 | 15 | 人 | H28.3 | 26 | 地方創生に非常に効果的であった | 総合戦略のKPI達成に有効であった | 人材育成数26名、企業への再就職5名の実績があった。最終的に国からの交付金に頼らず、自立を目指すのならば受注額をKPIに設定する検討も必要。H28年度は、OJTサポートを拡充するなど、事業規模を大幅に拡大しているが、最終的には自立を目指す方向性。 | 事業の継続 | 地方創生加速化交付金(H28)を活用しており、事業を継続。地方創生推進交付金は、H29年度から地域発の女性の活躍モデル地域を目指すため継続予定。 |
| 4 | 6次産業化推進事業 | 基礎交付 | 3,202,800 | 指標① | 研究会参加農家数 | 3 | 件 | H28.3 | 2 | 地方創生に相当程度効果があった | 総合戦略のKPI達成に有効であった | 未来に残っていく事業であり、一過性のブームでなく利益を継続して産み出す可能性のある事業と考えられ事業費の拡大も検討すべき。6次産業化はワインに限らず日本酒でも良く、6次産業化調査委託の結果を踏まえ、幅広い視点が必要と考える。 | 追加等更に発展させる | 加速化交付金(H28 広域連携)を活用しており、事業を継続。 |
| 指標② | 新規栽培面積増加 | 1 | ha | H28.3 | 3.4 | | | | | | | | | |
| 5 | 「真田ブランドを活かしたまちづくり事業」観光ホームページ、パンフレットの多言語化及び情報集発信事業 | 基礎交付 | 2,745,014 | 指標① | 外国人観光客数 | 10,000 | 人 | H28.3 | 8,048 | 地方創生に効果があった | 総合戦略のKPI達成に有効であった | 上田市の観光情報を、米国に居住する英語が堪能な日本人に依頼して、SNS、フェイスブックに英語で情報発信をしている。市内にいる留学生や外国語学校の学生など、外国語を使う人達を活用した事業の展開も必要と考える。 | 事業の継続 | ホームページ製作等委託、パンフレット制作等委託は事業費を縮小して継続。 |
| 6 | 「真田ブランドを活かしたまちづくり事業」新幹線沿線都市及び真田街道推進機構との連携事業 | 基礎交付 | 1,903,491 | 指標① | JR上田駅乗客数 | 105 | 万人 | H28.3 | 105 | 地方創生に効果があった | 総合戦略のKPI達成に有効であった | JR上田駅の乗客数をKPIに設定。効果・検証時点では未発表だったので、実績が確実に確認できるKPIの設定も必要となる。 | 事業の継続 | 真田街道推進機構負担金は事業費を縮小して継続。 |
| 指標② | ダンブラリー参加数 | 3,500 | 人 | H28.3 | 554 | | | | | | | | | |

| No | ① 交付対象事業の名称 | ② 交付金の種類 | ③ 実績額 単位：円 | ④ 本事業における重要業績評価指標 (KPI) | | | | | ⑤ 本事業終了後における実績値 | | ⑥ 外部有識者からの評価 | | ⑦ 実績値を踏まえた事業の今後について | |
|----|---|-------------|------------------|----------------------------|-----------------|--------|----|-------|--------------------|-----------------|-------------------|---|------------------------|---|
| | | | | 指標 | | 指標値 | 単位 | 目標年月 | 実績値 | 事業効果 | 事業の評価 | 外部有識者からの意見 | 今後の方針 | 今後の方針の理由 |
| | | | | 指標① | 指標② | | | | | | | | | |
| 7 | 「真田ブランドを活かしたまちづくり事業」まちなか観光案内所運営事業 | 基礎交付 | 1,817,040 | 指標① | まちなか観光案内所利用者数/月 | 1,000 | 人 | H28.3 | 1,095 | 地方創生に相当程度効果があった | 総合戦略のKPI達成に有効であった | 中央商店街エリア内において、街なかを歩く観光客に見所を押しさえた観光ルートの案内が実施できた。利用者数も目標どおりであった。 | 事業の継続 | 平成28年度で事業終了予定。 |
| | | | | 指標② | 上田駅観光案内所利用者数/月 | 3,000 | 人 | H28.3 | 2,989 | | | | | |
| | | | | 指標③ | | | | | | | | | | |
| | | | | 指標④ | | | | | | | | | | |
| | | | | 指標⑤ | | | | | | | | | | |
| 8 | 「真田ブランドを活かしたまちづくり事業」観光プロモーション事業おもてなし武将隊事業 | 基礎交付 | 23,902,227 | 指標① | 観光タクシー利用者数 | 250 | 人 | H28.3 | 902 | 地方創生に非常に効果的であった | 総合戦略のKPI達成に有効であった | 観光タクシーのプランの中には、武将隊がガイドになって上田を周遊するプランがあるためタクシー利用者数をKPI1に設定した。利用者目標値を大幅に上回っている。観光事業には、城内の観光消費額の視点もKPIに取り入れる必要があると考える。 | 事業の継続 | 活動による観光客へのPR効果があるため事業継続。 |
| | | | | 指標② | | | | | | | | | | |
| | | | | 指標③ | | | | | | | | | | |
| | | | | 指標④ | | | | | | | | | | |
| | | | | 指標⑤ | | | | | | | | | | |
| 9 | 「真田ブランドを活かしたまちづくり事業」真田氏の歴史演劇鑑賞事業 | 基礎交付 | 1,200,000 | 指標① | 小学生の鑑賞者数 | 1,705 | 人 | H28.3 | 1,890 | 地方創生に効果があった | 総合戦略のKPI達成に有効であった | 真田氏の活躍を表現した演劇を制作し、市内小学校に巡回公演したことは郷土の歴史を知り、郷土への関心を高め愛着と誇りを育む機会となったことは評価できる。児童の反響も大きく、平成28年度の希望校も増加している。 | 事業の継続 | 平成28年度で事業終了予定。 |
| | | | | 指標② | | | | | | | | | | |
| | | | | 指標③ | | | | | | | | | | |
| | | | | 指標④ | | | | | | | | | | |
| | | | | 指標⑤ | | | | | | | | | | |
| 10 | 「真田ブランドを活かしたまちづくり事業」上田城関連史跡アプリ制作事業 | 基礎交付 | 21,600,000 | 指標① | アクセス数 | 45,000 | 件 | H28.3 | 41,594 | 地方創生に相当程度効果があった | 総合戦略のKPI達成に有効であった | アクセス数をKPI1として設定している。ダウンロード数は8月2日現在2万件を超えている状況にあり関心は依然として高い。ダウンロード数もKPIに必要だったと考える。 | 予定通り事業終了 | 5月末現在アクセス数133,379件、地方発教育系アプリでは異例の数値。利用者数維持の取組は継続。 |
| | | | | 指標② | 上田城入場者数 | 155 | 万人 | H28.3 | 215 | | | | | |
| | | | | 指標③ | | | | | | | | | | |
| | | | | 指標④ | | | | | | | | | | |
| | | | | 指標⑤ | | | | | | | | | | |
| 11 | 2019ラグビーワールドカップキャンプ地誘致事業 | 基礎交付 | 5,997,000 | 指標① | プロモーション活動回数 | 10 | 回 | H28.3 | 6回 | 地方創生に効果があった | 総合戦略のKPI達成に有効であった | ポスト真田丸として、非常に重要な位置づけにある事業と認識している。誘致活動も重要だが、映像等を活用して市民のラグビー熱を高める取組の推進が必要と考える。 | 予定通り事業終了 | 2019年ラグビーワールドカップキャンプ地誘致活動は継続するが、パンフレット、DVD制作は事業終了 |
| | | | | 指標② | | | | | | | | | | |
| | | | | 指標③ | | | | | | | | | | |
| | | | | 指標④ | | | | | | | | | | |
| | | | | 指標⑤ | | | | | | | | | | |
| 12 | 【子育て安心支援事業】民間保育所助成事業 | 基礎交付 | 35,364,925 | 指標① | 障がい児受入数 | 35 | 人 | H28.3 | 27 | 地方創生に効果があった | 総合戦略のKPI達成に有効であった | 少子化対策重点交付金において、子育て支援の事業展開が見られるが、子育て支援等は国の重点施策でもあるため、地方創生関連として交付対象事業を増やしても良いと考える。 | 事業の継続 | 民間保育所への助成を見直しつつ事業を継続。 |
| | | | | 指標② | 乳児受入数 | 20 | 人 | H28.3 | 13 | | | | | |
| | | | | 指標③ | 医療ケア可能園 | 2 | 園 | H28.3 | 2 | | | | | |
| | | | | 指標④ | | | | | | | | | | |
| | | | | 指標⑤ | | | | | | | | | | |

| No | ① 交付対象事業の名称 | ② 交付金の種類 | ③ 実績額 単位：円 | ④ 本事業における重要業績評価指標 (KPI) | | | | | ⑤ 本事業終了後における実績値 | | ⑥ 外部有識者からの評価 | | ⑦ 実績値を踏まえた事業の今後について | |
|-----|----------------------------------|-------------|------------------|----------------------------|-----------|-------|-----|-------|--------------------|-----------------|-------------------|--|------------------------|------------------------------------|
| | | | | 指標 | | 指標値 | 単位 | 目標年月 | 実績値 | 事業効果 | 事業の評価 | 外部有識者からの意見 | 今後の方針 | 今後の方針の理由 |
| | | | | 指標① | 指標② | 指標③ | 指標④ | 指標⑤ | 指標① | 指標② | | | | |
| 13 | 健康づくりチャレンジポイント制度事業 | 基礎交付 | 562,474 | 指標① | ポイント制度参加者 | 1,000 | 人 | H28.3 | 3,043 | 地方創生に相当程度効果があった | 総合戦略のKPI達成に有効であった | KPIに設定したポイント制度参加者は、目標を大幅に上回る実績であった。課題とされているポイントの交換・還元が進んでいないのは、付与されるポイントに交換可能期間の設定がなかったからと考えられる。生活習慣病と身体機能の維持に関するKPI設定も必要と考えられる。 | 事業の継続 | 特定健診受診率を上げ、楽しみながら健康づくりの環境を図るため事業継続 |
| 14 | 地方版総合戦略策定事業 | 基礎交付 | 6,095,800 | 指標① | | - | - | - | - | 地方創生に効果があった | 総合戦略のKPI達成に有効であった | 総合戦略は平成27年10月までに策定している。総合戦略に計上している施策事業に対して数値目標を設定し、今後の事業検証や見直し等を確実にを行う仕組みが備えられており評価できる。 | 予定通り事業終了 | 平成27年10月に上田市まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定 |
| 15 | 北陸新幹線沿線の地域間連携による新たな広域周遊観光ルート形成事業 | タイプⅠ | 45,371,984 | 指標① | 観光客数 | 500 | 万人 | H28.3 | 545 | 地方創生に相当程度効果があった | 総合戦略のKPI達成に有効であった | 長野県、富山県、石川県、長野市、金沢市、上田市の県域をまたぐ事業で6事業をパッケージ化している。観光客数をKPIに定めているが、各事業ごとのKRIも個別に定める必要があったと考える。 | 事業の継続 | 広域周遊観光ルート形成事業は事業費を縮小して継続 |
| 16 | DMO設立を視野に入れたピーナスラインを基軸とした広域観光事業 | タイプⅠ | 247,000 | 指標① | 基礎調査回答者数 | 1,000 | 人 | H28.3 | 1,244 | 地方創生に相当程度効果があった | 総合戦略のKPI達成に有効であった | DMOは観光だけでなく、地域資源と結びつけて、6次産業化に結びつけていく取組と認識している。今後上田市独自の取組も積極的に進める必要がある。 | 事業の継続 | 加速化交付金(H28 広域連携)を活用しおり、事業を継続。 |
| 指標② | パンフレット配備施設数 | 100 | 施設 | H28.3 | 120 | | | | | | | | | |
| 指標③ | セミナー参加者数 | 30 | 人 | H28.3 | 26 | | | | | | | | | |
| 指標④ | 広域観光案内ガイド作成者数 | 10 | 人 | H28.3 | 0 | | | | | | | | | |
| 指標⑤ | | | | | | | | | | | | | | |
| 17 | 観光客の満足度向上事業 | タイプⅡ | 6,479,166 | 指標① | 満足度の増加 | 10 | % | H28.3 | 10 | 地方創生に効果があった | 総合戦略のKPI達成に有効であった | 上田城跡公園にもてなし処「真田茶屋」が設置され、気軽に休憩・交流スペースが設置できたことは、評価できる。真田地域の「ゆきむら夢工房」も備品整備され、全体の満足度が向上している。 | 事業の継続 | 平成28年度で事業終了 |
| 18 | 信州上田魅力発信事業 | タイプⅡ | 3,520,834 | 指標① | 観光客数 | 500 | 万人 | H28.3 | 545 | 地方創生に効果があった | 総合戦略のKPI達成に有効であった | 移住希望者への説明や、企業が就職説明会で上田を紹介する際にも利用されていることは評価できる。作成した冊子は首都圏の書店等でも販売され、郷土の魅力を再発見するきっかけともなった。 | 予定通り事業終了 | 平成27年度で事業終了 |